



菊池っ子だより

Vol.4

市内の各小中学校で行われているさまざまな取り組みをピックアップしてご紹介します。

☎学校教育課 ☎0968(25)7231

9月6日 学校へ行こうの日

旭志小学校



かるた遊び



おもちゃやさん



習字の練習

旭志小学校ではフリー参観日として「学校へ行こうの日」を設けています。1年生は祖父母の皆さんと「菊池ふるさとかるた」、2年生は手作り「おもちゃやさん」に保護者を招待、3年生は習字で筆の使い方を学び、交流を楽しんでいました。

9月26日 反則はダメ! 教育プロレス開催

隈府小学校



八代市に本拠地を置くプロレス団体「求道軍」(幸村ケンシロウ代表)を招き、「教育プロレス」を観戦しました。悪役レスラーが凶器を使ったり、急所を攻撃したりなど反則技を繰り出すと、児童たちは一斉に相手レスラーを応援。悪役レスラーに勝利すると歓声を上げて喜びました。児童たちは試合を通して、人の痛みを知ること、命の尊さ、ルールを守ることの大切さを学びました。

9月12日 命を尊重する心

戸崎小学校



全校集会

全校集会と各学級で命の尊さについて学習しました。命は一度無くしたら二度と生き返ることはないこと。一人一人の命はたくさんの人たちから受け継いできた奇跡のようなものであり、決して一人だけのものではないこと。悲しいときやつらいときは誰かに相談することなどを話しました。

10月1日 鹿児島県の龍南中と交流会

七城中学校



風船リレーを楽しむ両校の生徒たち

鹿児島県龍郷町立龍南中学校の生徒たちが修学旅行で七城中学校を訪れ交流しました。本市は菊池一族の子孫である西郷隆盛を縁に龍郷町と友好都市を結んでおり、龍南中が初めて西郷隆盛ゆかりの地である七城町を訪問しました。

交流会ではお互いのまちの特色を発表して理解を深め、風船リレーで盛り上がるなど交流を楽しみました。七城中3年の笠結賀さんは「島唄が幻想的で良かった。いつか龍郷町に行ってみよう」と笑顔を見せました。

9月20日 曜授業で木工教室

菊池北中学校



全員協力して製作



龍門林研究グループと一緒に作りました

熊本県水とみどりの森づくり税事業の一環として木工教室を行いました。龍門林研究グループや学校卒業生の協力の下、1人1鉢菊作りのための菊台(鉢を置く台)を製作。生徒たち同士楽しみながら身近にある木材の温かみを感じていました。



6



5



4



1



3

2

1. 会場に設置された巨大な龍のオブジェ 2. 来場者を迎える道路沿いのコスモス 3. 訪問団を歓迎する李建植市長 4. 白龍を彷彿させる2頭の龍 5. 色とりどりの菊の花で飾られた建物 6. 祭りのメインステージ 7. 多くの観光客が訪れる金山寺。ほかにも多くの歴史的建築物が残されている



韓国友好都市金堤市訪問記

9.30-10.2

キムジェ

韓国金堤市「地平線祭り」に参加して 菊池市副市長 木村利昭

9月30日から10月2日まで、友好都市である韓国金堤市から「地平線祭り」へのご招待を受け訪問した。金堤市では、仁川国際空港から高速道路で約3時間、距離にして260kmの道のりである。車窓には、日本のような高い山並みを見ることもなくゆったりとした丘陵、平野が続く。時折、近代的な高層住宅や伝統的な家が現れる。田畑は実りの秋である。

金堤市に入ると、美しく咲きそろうたコスモスの花街道となった。このコスモスは、市職員と地域住民が一緒に育てて育成・管理し、総延長は40kmに及ぶと聞いた。特筆すべきは、この地平線祭りに合わせて、開花の調整が行われていることだ。早咲きのコスモスの芽を摘むような方法で行われるのだが、地域の皆で最高のもてなしをしたいという取り組みには大きな感銘を受けた。

市役所に着くと、玄関先で歓迎の花束を頂き、市長室に案内を受けた。市長は「李建植(イ・ゴンシク)氏である。初めてお会いする方であったが、終始柔和で丁寧なごあいさつを頂いた。

金堤市の大きな地図を前に、市長は、韓国最大の埋立事業による新たな土地に工業団地や国際空港の整備を図り、市の発展を考えて行きたいと話をされた。大きく落ち込んだ人

口を何とか復活させようとする強い熱意が感じられ、心を打たれた。さてメインの地平線祭りであるが、5日の期間中100万人の来場者がある韓国最大の祭りというが、既に開会式前にもかかわらず多くの人でにぎわっていた。祭りの基本は、韓国の伝統的な農業、農村文化がテーマとなっており、会場には稲刈りから脱穀、もみすり、精米まで一連の作業を伝統的な方法で体験し、実際のお米を炊いて試食するコーナーなどが設けられていた。そのほか、伝統的なたこ揚げなどの場も設けてあり、連日ごいづくも大空に舞っていた。

今回の訪問では、100万人もの観光客を引き付ける魅力の全貌を見聞きすることはできなかったが、そこには「市民の主体性・市民力」そして、それを支える「民・官のパートナリシップ」、「おもてなし」があると感じた。

昭和60年に旧泗水町と姉妹都市を締結してから今年で30年目を迎える。今後さらに友好親善の輪が広がり、両市が共に発展していくことを願うものである。

金堤市は、鞠智城築城に至る歴史の舞台となった白村江にも程近い。地平まで遠く招く秋桜